ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
E1421009	声楽III (Vocal music III)		対面

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態
選択	1	3	教育学部 ≪令和２年度以降入学生用≫	前期	月4	日本語		単独

担当教員	氏名　栗栖　由美子 E-mail　ykurisu@oita-u.ac.jp　内線　7617
授業の概要	声楽Ⅱで習得した能力にもとづき、中学校歌唱教材を用いて、専門的知識とさらに高度な歌唱技術を身につけ、「花の街」、「早春賦」についての指導法を習得します。また、イタリア歌曲をとおして、西洋と日本の母音の響きの違いを理解します。

具体的な到達目標		DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	身体の構造と機能にもとづく発声法を理解する。		○						
目標2	「花の街」、「早春賦」における範唱ができる。		○						
目標3	「花の街」、「早春賦」における弾き歌いの技術を習得する。		○						
目標4	「花の街」、「早春賦」における指導法を理解し、場面指導ができる。		○						
目標5	曲種に応じた発声や言葉の特性を理解する。		○						
目標6									
目標7									
目標8									
目標9									
目標10									
	各DPへの関連度（計10）		10						

授業の内容	
1	授業ガイダンス
2	姿勢・呼吸法について
3	発音について（西洋の母音と日本の母音）
4	「花の街」,「早春賦」について
5	「花の街」における歌唱法（１）強弱の変化と旋律の緊張や弛緩との関係
6	「花の街」における歌唱法（２）フレーズのまとまりを意識した表現
7	「花の街」を用いた弾き歌い
8	「花の街」を用いた場面指導
9	「早春賦」における歌唱法（１）旋律と強弱のかかわり
10	「早春賦」における歌唱法（２）拍子とフレーズ感
11	「早春賦」における歌唱法（３）幅広い音域を歌うときの声の響き
12	「早春賦」における歌唱法（４）詩情を生かした表現
13	「早春賦」を用いた弾き歌い
14	「早春賦」を用いた場面指導
15	イタリア歌曲について

アクティブラーニング				
A:知識の定着・確認	○	教材研究、演奏発表、場面指導、相互評価	その他の工夫	
B:意見の表現・交換	○			
C:応用志向				
D:知識の活用・創造	○			

授業時間外学修の内容と想定時間		
	準備学修	指定曲の事前練習・教材研究（10ｈ）、場面指導のための事前準備（3ｈ）
	事後学修	授業で扱った曲の復習（10ｈ）
	想定時間合計	23

教科書	①教育芸術社『中学生の音楽１』ISBN978-4877888503、『中学生の音楽２・３上』ISBN978-4877888510、『中学生の音楽２・３下』ISBN978-4877888527 ②全音楽譜出使版社『イタリア歌曲集１』ISBN978-4117132205（『イタリア歌曲集１』は、発声の充実を図るために使用します。各自のレベルに合わせて、その都度提示します。）
参考書	文部科学省『中学校学習指導要領解説　音楽編』(平成29年告示）ISBN978-4877888114 必要に応じて、楽譜を配布します。

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	授業への参加度（授業への取り組み、場面指導、実技等）	40%	○	○	○	○	○					
	最終実技試験	60%	○	○	○		○					

注意事項	各自、発声練習をしてから受講してください。 授業全体の７割以上の出席を，単位取得のための基礎条件とします。
備考	・個人レッスンの形態をとりますが、毎回、公開レッスンとし、他学生の歌唱や弾き歌い、場面指導に対して、コメントする時間を設けます。 ・歌唱技術のレベルによっては、曲目を変更する場合があります。また、早く進めた場合は、教材を追加します。
リンク	
URL	